

平成 24 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 日本ベリサイン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 古市 克典  
(コード：3722、東証マザーズ)  
問合せ先 コーポレート本部 本部長 風間 武也  
(TEL. 03-3271-7011)

### 繰延税金資産の回収可能性見直しに伴う業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 2 月 9 日に開示した業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

当第 1 四半期累計期間において、繰延税金資産の回収可能性見直しに伴い、繰延税金資産に対する評価性引当額を戻し入れることにより、法人税等調整額が利益方向へ増加する見込みとなったため、業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 1. 繰延税金資産の計上

当期の業績の進捗状況、および今後の業績見通しを踏まえ、「繰延税金資産の回収可能性の判断に関する監査上の取扱い」（日本公認会計士協会監査委員会報告第 66 号）に基づいて、当社の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、スケジューリング可能な将来減算一時差異等に対する評価性引当額を戻し入れることといたしました。この結果、当第 1 四半期に法人税等調整額を連結で 231 百万円、個別で 233 百万円、利益方向へ計上する見込みとなりました。

#### 2. 業績予想の修正

(1) 平成 24 年 12 月期 第 2 四半期 連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,570	百万円 500	百万円 520	百万円 300	円 銭 671 75
今回修正予想 (B)	3,570	500	520	600	1,343 51
増減額 (B-A)	—	—	—	300	
増減率 (%)	—	—	—	100.0	
(参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 12 月期第 2 四半期)	3,300	730	768	366	817 50

(2) 平成24年12月期 通期 連結業績予想数値の修正 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,200	百万円 1,400	百万円 1,420	百万円 820	円 銭 1,836 14
今回修正予想 (B)	7,200	1,400	1,420	1,300	2,910 95
増減額 (B - A)	—	—	—	480	
増減率 ( % )	—	—	—	58.5	
(参考) 前期連結実績 (平成23年12月期)	6,788	1,447	1,504	665	1,487 40

(3) 平成24年12月期 第2四半期 個別業績予想数値の修正 (平成24年1月1日～平成24年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,540	百万円 510	百万円 290	円 銭 649 36
今回修正予想 (B)	3,540	510	590	1,321 12
増減額 (B - A)	—	—	300	
増減率 ( % )	—	—	103.4	
(参考) 前期第2四半期実績 (平成23年12月期第2四半期)	3,279	755	358	799 65

(4) 平成24年12月期 通期 個別業績予想数値の修正 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,140	百万円 1,390	百万円 800	円 銭 1,791 35
今回修正予想 (B)	7,140	1,390	1,280	2,866 17
増減額 (B - A)	—	—	480	
増減率 ( % )	—	—	60.0	
(参考) 前期実績 (平成23年12月期)	6,747	1,479	650	1,454 48

### 3. 修正の理由

上記のとおり平成24年12月期第1四半期で繰延税金資産に対する評価性引当額を戻し入れることで法人税等調整額が利益方向へ増加いたします。その結果、税効果適用後の税金費用が軽減したため、当期（四半期）純利益が、当初の計画を大きく上回る見込みです。よって、平成24年12月期第2四半期および通期の、連結、個別業績予想とも、上記のとおり修正いたします。

なお、当社の事業動向は堅調であり、業績は順調に推移していることから、売上高、営業利益、経常利益については、平成24年2月9日開示の当初予想から修正いたしません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値とことなる可能性があります。

以 上